

## 本学学生のコミュニケーション手段に関する調査報告

筑波技術短期大学電子情報学科情報工学専攻<sup>1)</sup> 同電子情報学科電子工学専攻<sup>2)</sup> 同教育方法開発センター(聴覚障害系)<sup>3)</sup>

村上裕史<sup>1)</sup> 内藤一郎<sup>2)</sup> 石原保志<sup>3)</sup>

**要旨:** 聴覚に障害を持つ学生たちのコミュニケーション方法には、手話・口話・筆談等の手段がある。これらの手段は基本的な情報伝達の手段であり、どのような方法が利用されているかを明らかにすることは、本学での教育を成立させるために非常に重要な要素である。本学学生に対する4年間のアンケート調査により、本学学生のコミュニケーション手段の傾向が明らかになった。これらについて報告を行う。

**キーワード:** 聴覚障害学生、コミュニケーション手段、手話、口話

### 1. はじめに

聴覚に障害を持つ学生のコミュニケーション手段には、手話・口話・筆談など、個々の学生により様々な方法が用いられている。近年の本学入学学生のコミュニケーション手段を見ると、年々益々多様化する傾向が見られる。彼らが社会生活(大学生活を含む)を営む上での基本的な要素であるコミュニケーション手段を明らかにすることは、本学での高等教育を成立させるために重要な基本要素である。

我々は「コンピュータと通信機器のイメージ・利用状況について」と題したアンケート調査を平成9年より4年間連続して行ってきた。この調査項目の中に、「コミュニケーション手段について」の質問が含まれており、その解析結果により本学学生のコミュニケーション手段動向が明らかになったので報告する。

### 2. 調査項目

今回の質問項目を表1に示す。これらの質問に対し、複数回答を許し、「 :時々使う」、「 :使う」、「 :よく使う」で回答してもらった。

また、調査期間と対象の学生数は

表2

年	在校生 (人)	卒業生 (人)	合計 (人)
1997	152	43	195
1998	131	41	172
1999	143	41	184
2000	157	35	192

の総計743名となっている(表2)。このうち、在校生は各学科の殆どの学生が含まれており、卒業生は同窓会総会への出席者を対象とし調査を行った。

表 1 コミュニケーションに関する質問

次のような場合に、あなたはどのようなコミュニケーション手段をとりますか?(複数回答可)

:時々使う、 :使う、 :よく使う

相手	コミュニケーション方法									
	聞くとき					話すとき				
	耳で聞く	口形を読む	手話	筆談	その他	声を出す	口形で示す	手話	筆談	その他
親しい友人 (聴者)										
初対面の人 (聴者)										
親しい友人 (聾・難聴者)										
初対面の人 (聾・難聴者)										
会議 (自分以外は聴者)										

### 3. 解析

今回のデータ解析では、各項目において度数分布を集計し、各年度、各質問項目での（よく使う）に注目し、その比率を抽出しグラフ化した。これは各項目の経年変化を視覚化し、コミュニケーション方法の変化を把握するためのものである。以下に各場面での在校生と卒業生の回答を提示する。

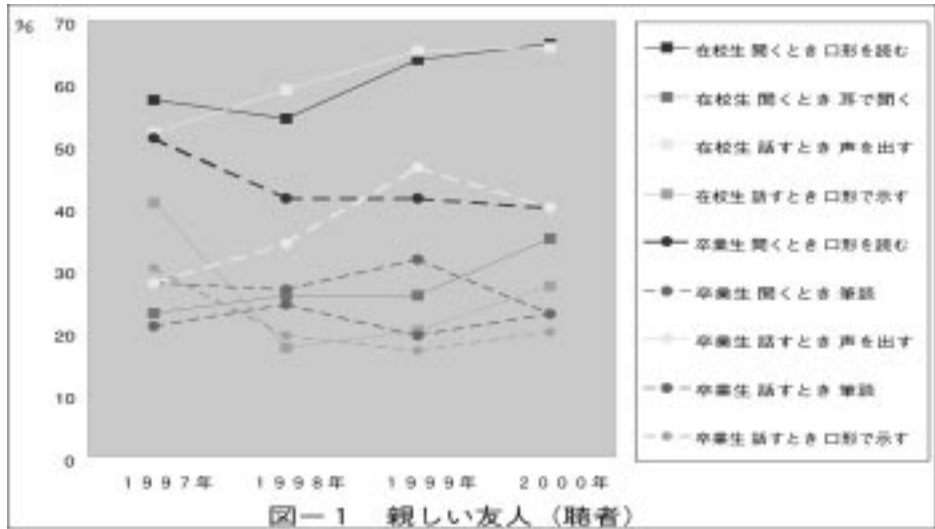


図-1 親しい友人 (聴者)

聴者で親しい友人とのコミュニケーション動向を図-1に示す。在校生は聞く時は、相手の口を読み、話すときは声を出している。卒業生の場合も同じような傾向にあるが、筆談も使われている。

初対面の聴者とのコミュニケーション動向を図-2に示す。親しい友人の場合と比較しコミュニケーション方法が多様化している。在校生にも筆談が第2の方法として利用されている。しかし、基本的には「口を読み」「声を出す」コミュニケーション方法を用いている。

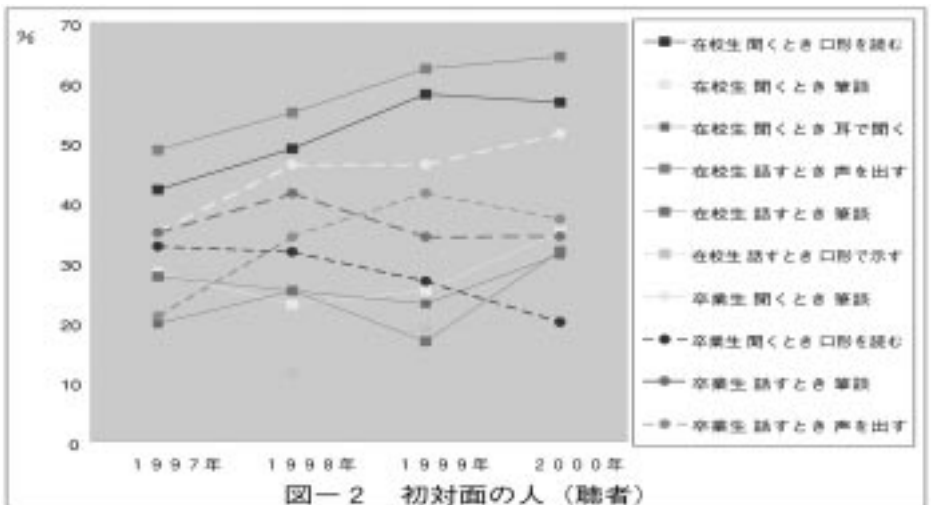


図-2 初対面の人 (聴者)

聾者や難聴者で親しい友人とのコミュニケーション動向を図-3に示す。卒業生は大部分が手話によりコミュニケーションを行っているが、在校生は多くの方法を使っている。

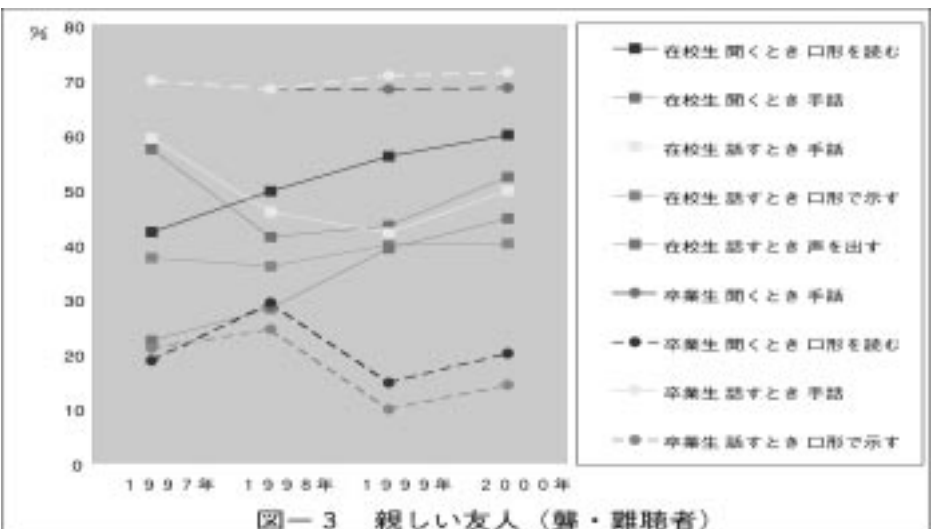


図-3 親しい友人 (聾・難聴者)

聾者や難聴者で初対面の人とのコミュニケーション動向を図-4に示す。これは、在校生も卒業生も親しい友人の場合と同様なコミュニケーション傾向にある。

自分以外は聴者で構成される会議でのコミュニケーション動向を図-5に示す。在校生は口を読んで声を出してコミュニケーションと取り、卒業生は聞くときも話すときも筆談を使用している。

聾者と難聴者だけで構成される会議でのコミュニケーション動向を図-6に示す。これは、在校生も卒業生も話すときと聞くときに手話の利用が1位であるが、在校生の場合は他の方法の利用も余り差異が認められない。

#### 4. 考察

在校生は入学時には手話ができない学生が多くいるので、コミュニケーション方法が口話法にシフトしていると思われる。しかし3年次の学生には手話が堪能な学生もいるが、全体としては、聴者とのコミュニケーションでは、聞くときは相手の口を読み、話すときは声を出している。従って、授業などでは、「教官は学生に顔（特に口）が良く見える環境で教育を行うことが大変重要である」と言うことができる。

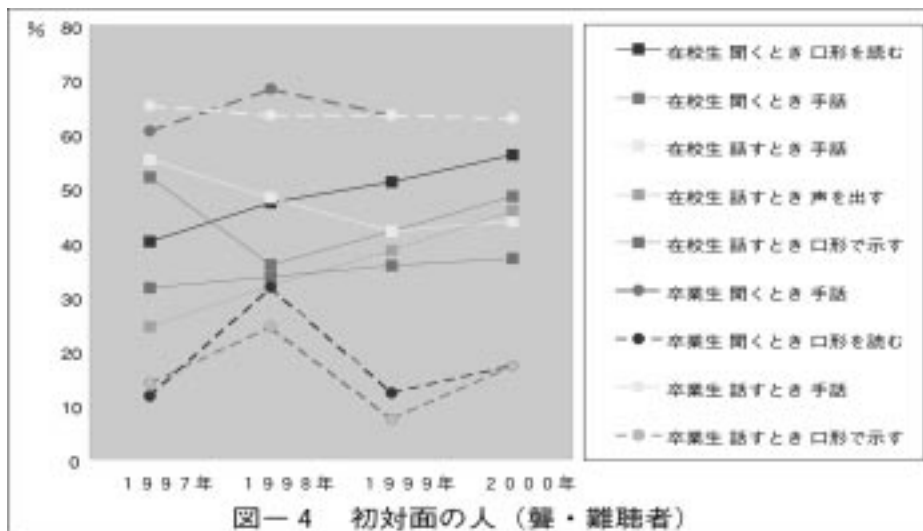


図-4 初対面の人（聾・難聴者）

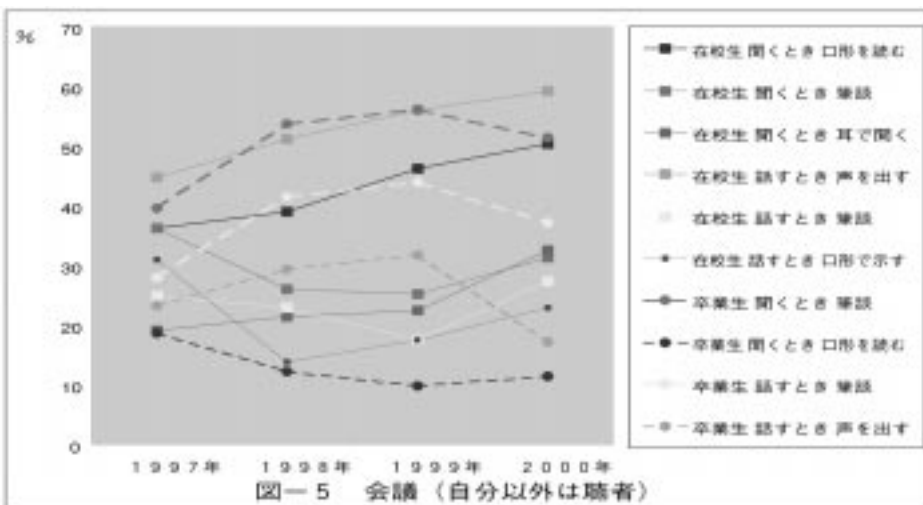


図-5 会議（自分以外は聴者）

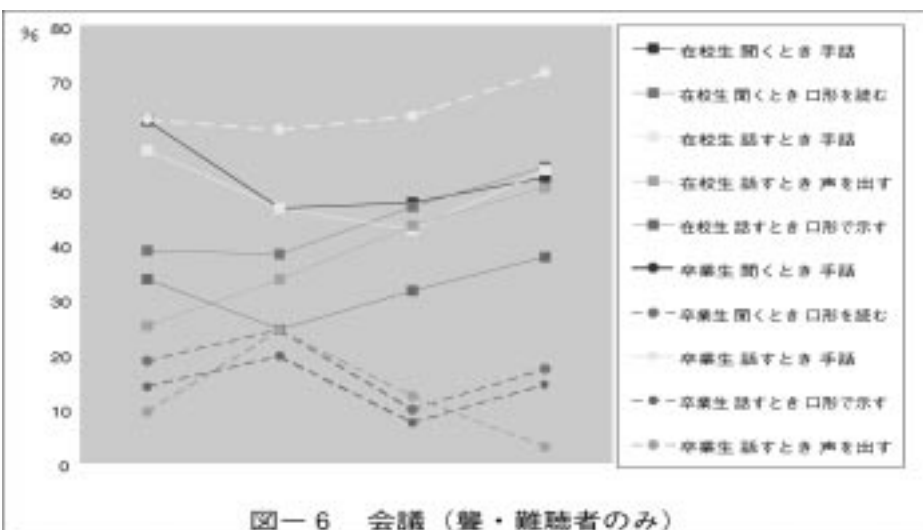


図-6 会議（聾・難聴者のみ）

また、在校生の場合は質問項目の総ての場合において、卒業生が会議での場面で「筆談」を選択したように、コミュニケーション手段に際だって優位なものが見出せなかった。このことは、「自分のコミュニケーション手段」を確立できておらず、試行錯誤を行っているように思われる。

なぜならば、卒業生は場面に応じてコミュニケーション手段を使い分けており、学生時代よりも、より確実なコミュニケーションが確立できる方法を場面に応じて選択している。

#### 5. 今後の課題

考察に示したように卒業生はコミュニケーション手段をTPOに合わせて使分けているので、在校生も各自のコミュニケーション手段を早期に確立し、確実なコミュニケーション方法を身に付けることが重要と思われる。

また、会議でのコミュニケーション手段では、卒業生では大きく筆談でのコミュニケーションへシフトしている。卒業生の意見を聞くと、聴者の中での会議では情報を掴むのは困難なようである。従って会議での情報保障についての研究が必要である。

従って、在校生に対するコミュニケーションスキルを向上させる何らかの系統だったカリキュラムが必要であると考えている。

#### 6. 謝辞

本研究は平成12年度教育改善推進費の支援によるものである。

また、アンケートに快く協力してくれた本学学生及び卒業生に心から感謝する。

#### 7. 参考文献

- 1) 村上裕史・内藤一郎・他：本学学生の情報機器に関する意識調査より：筑波技術短期大学テクノレポート5：69-72,1998.
- 2) 内藤一郎・村上裕史・他：聴覚障害者における移動体通信の利用に関する検討：電子情報通信学会技術報告、信学技報 ET97-75(1997-11)：31-38、1997.

## Survey Report on the Communication Method of Hearing Impaired Students at T.C.T.

Hiroshi MURAKAMI<sup>1)</sup>, Ichiro NAITO<sup>2)</sup> & Yasushi ISHIHARA<sup>3)</sup>

<sup>1)</sup>Department of Information Science, Tsukuba College of Technology

<sup>2)</sup>Department of Electronics, Tsukuba College of Technology

<sup>3)</sup>Research Center on Educational Media, Division for the Hearing Impaired, Tsukuba College of Technology

**Abstract:** Among the methods of communications of hearing impaired students, there is sign language, rip reading, and talk in writing, etc. These are basic communication methods of them. It is a very important element at TCT to make students' methods of communications discernment. We clarified the tendency to student's communication tool from the questionnaire survey of four years. We report on this investigation result.

**Key Words:** Hearing impaired students, Method of communication, Sign language, Rip reading